

AO入試 第一期生の声

夢は 世界の魅力を発信



メディアビジネス学科1年
原野 つかささん
山口県/宇部中央高校出身

初イベントでグループ活動の大変さを学ぶ

オープンキャンパスでこの大学の雰囲気や充実した施設に魅力を感じ、その場でAO入試にエントリーしました。面談では、自分の行動力をアピールするとともに、興動館プロジェクトのアイデアとして、給食を残す子ども達に食べ物の大変さを伝える活動を提案しましたが、もともと人と話すのが好きだったこともあり、自分なりに大学での学びに対する熱意や考えを表現することができたと思います。大学に入ってから約4ヶ月、

ようやく大学生活にも慣れてきました。興動館科目は「瀬戸内海地域の魅力を発信しよう」と「NPO・NGOの立ち上げと活動」を受講しています。授業はいずれもグループで学習や議論を行うスタイルです。「瀬戸内海地域の魅力を発信しよう」では、「方言」に注目して瀬戸内海地域を紹介するパンフレットを作成。自分たちがよく知っている、形にしたい作業はどれも難しいですが面白いです。

また、六月に興動館で行われたハワイの中学生との交流イベントに参加しました。このイベントではAO入試で入学した学生や興動館プロジェクトに興味がある学生有志二十人が企画立



手巻き寿司パーティの準備をする学生

手巻き寿司パーティの準備をする学生。六月二十二日、ハワイ・コナワイナ中学校の生徒十人、コナワイナ中学校の生徒十人を本校に招き、交流会を開催した。このイベントは、コナワイナ中学校が、体験を通じて生きた言語学習や異文化理解につなげていくため実施しているプログラムである。

今年、AO入学者をはじめ、興動館プロジェクトに興味を持つ二年生有志二十人が「アロハコミュニティ2008」というプロジェクトチームを結成し、手巻き寿司パーティ、ケイドロ（鬼ごっこ）のような遊び、フェアウェルパーティ、肝試しなどの多くのイベントで、ハワイの生徒やホストファミリーをもてなした。

最初、参加者の間では、こちない面もみられたが、さまざまなイベントを通して、言葉の壁を超えたコミュニケーションが生まれ、最後に涙で別れを惜しむほど交流は深まった。大学に入学して間もない興動人の卵たちは、約一カ月という短い期間で試行錯誤しながら、個性の違う仲間たちと共に、ゼロから企画を立ち上げたイベントを成功させ、それぞれ達成感を得ることができた。

六月六日、本学学生とインドの学生、社会人との異文化交流会が行われた。これは、外務省が進めている「21世紀東アジア青年交流計画」の一環として行われるもので、青少年交流を通じて相互理解と友好関係の促進を目的としている。



本場のカレーの食べ方を教わる

の学生たちも、ゴザの上でカレーを右手だけを使って食べるという本場の食べ方に驚きながらも、インドの学生たちとコミュニケーションをとりながら、食事を楽しんだ。インドの若者たちと交流した本学の学生たちは、食習慣をはじめとする異文化を実体験することによって、インドをはじめとする他国の異文化に、興味を持つ良いきっかけとなったようだ。

ビジネス・シミュレーション・ゲーム

行動力フィールド

この授業ではグループでビジネスを想定したゲームに取り組み、計3回のゲームを行います。最初のゲームでは、成果をあげるためのノウハウを学習し、自分の行動特性について考え、2回目は自分の知識が行動に結びついていくかを検証。最後のゲームでは、チームで目標を設定し、それを達成するための戦略や戦術を考えます。



先生からのメッセージ

この科目の目的は、夢や目標を達成するためのコツに気づいて、それを自らの持論とし、行動力を高め、行動という疑似体験を通じて無意識に働きかけ、気づきを促すツールとして、シミュレーション・ゲームを活用しています。自分自身が楽しく充実した人生を送るために、この持論を持つことはとても重要であり、自己成長をサポートしてくれます。また、人間関係力に不可欠な要素でもあり、良好な人間関係を築き、喜びを分かち合い、一人に役立立つ気づきを感じて頂ければと思います。

伊豆田 功先生 金原 光広先生 久保田 浩二先生

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを



全員でシグマサエティの誓約を唱和し、決意も新たに

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

興動人の卵、ハワイの中学生と異文化交流

六月二十二日、ハワイ・コナワイナ中学校の生徒十人、コナワイナ中学校の生徒十人を本校に招き、交流会を開催した。このイベントは、コナワイナ中学校が、体験を通じて生きた言語学習や異文化理解につなげていくため実施しているプログラムである。

今年、AO入学者をはじめ、興動館プロジェクトに興味を持つ二年生有志二十人が「アロハコミュニティ2008」というプロジェクトチームを結成し、手巻き寿司パーティ、ケイドロ（鬼ごっこ）のような遊び、フェアウェルパーティ、肝試しなどの多くのイベントで、ハワイの生徒やホストファミリーをもてなした。

最初、参加者の間では、こちない面もみられたが、さまざまなイベントを通して、言葉の壁を超えたコミュニケーションが生まれ、最後に涙で別れを惜しむほど交流は深まった。大学に入学して間もない興動人の卵たちは、約一カ月という短い期間で試行錯誤しながら、個性の違う仲間たちと共に、ゼロから企画を立ち上げたイベントを成功させ、それぞれ達成感を得ることができた。

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

中高生の夢・笑顔実現!!プロジェクト

五月十七日、中高生の夢・笑顔実現!!プロジェクトが、その活動が認められたものである。

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

達成!感動!興動人

新しい取り組みにチャレンジできる空間「興動館」。さまざまな興動館プロジェクトをはじめ、活気あふれるイベントなど、ゼロから立ち上げた企画が続々と展開され、大きな成果をあげている。

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

中国植林プロジェクト

七月三日、広島市内のホテルで開催された広島県・中国経済協会の報告発表会において、中国植林プロジェクトが、昨年実施した中国内モンゴルホルチン砂漠での植林活動のようをを発表した。

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを



植林のようをスライドを使って発表

随想

「深く勉強すれば人の心が読めますか?」、「この授業で人間関係の悩みは解消できますか?」、「私は本当は心理学に行きたかったんです!」など、初回の講義における新入生の出席カードの感想欄は期待のコメントで満ちあふれる。

筆者の担当する「心理学入門」をはじめとする心理学系の共通科目(教養教育科目)は毎年大にざわいてある。受講者は少なくても数百人、多ければ数百人にもなる。もう一人の担当者となわ

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

このプロジェクトは、不登校の中学生が学校に復帰できるように、その「きっかけ」を提供するため、シンポジウムやスポーツ交流など、さまざまなイベントを

初年次教育と心理学

心理学系五科目の一年間の受講者数は多い年は延べ千数百人にのぼる。マスコミの心理ブームや各種マニュアル本の効果は絶大で、講義担当者としては「開店休業」ではある「千客万来」の現状はありがた。しかし同時にそのような過大かつ多様な期待に応えることの難しさを感じつつ授業をする苦しさもある。

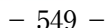
初回の講義はまず受講者の前記のようなイメージや高校時代までの学習スタイルを壊すことから始まる。「心理ゲーム」ではなく、人間の心理学を科学的に理解しようとする

すると受講者の困惑は大きい。学生によっては高校の全校生徒が一教室に集合したような多数の授業で授業時間も長い、それまでの板書をひたすらノートに書き写す学習スタイルが通じない。「心」という抽象的なテーマを科学的に考えると



神田 義浩

ヒト型ロボット、チンパンジーの学習能力や幼児心理など、心について違った視点から考えてもらう題材や、専門教育との接続を考え、「行動経済学」や「説得の技法」なども取り上げている。心理学は大学で初めて



就職試験対策を強化

「基礎科目Ⅰ」の五科目Ⅰは一年生を、Ⅱは二年生を対象にしている。三年生はⅢ・Ⅳの三科目を履修する。いずれの科目も学年の履修制限単位数をこえて履修することが可能だ。

授業の概要を見ると、Ⅰは数学や国語などの基礎知識の確認と就職試験問題演習。Ⅱは基礎固めと応用力の養成。Ⅲ・Ⅳは、就職筆記試験の定審と行われる「SPI」対策を行う。

加えて、Ⅴでは就職活動だ。ちなみに「SPI・一

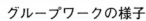
一步踏み出し異文化交流

五月十日、十一日、本学
研修センター(安芸田中)
において、国際交流サークル
の(C)G。チャオが、「今
までに学んできたものを国
際交流に興味を持った学生
に伝えたい」と、留学舍宿
を実施し、日本人学生二十
五人・短期留学生十五人・
国際交流室とC)G。のスタ
ッフを含め総勢五十六人が
参加した。

はじめに、グループを作
り、世界各国にあるさまざ
まな標識の意味を考え発表
した。

自分が多岐にわたる国の文化
や常識、思い込みにも捕ら
われていないか気をつけてら
うことが狙い。参加者からは
「他国の人たちとコミュニ
ケーションを取ることに
よって、今までと違った価値
観などを学ぶことができ
た」という感想があった。

続いて、各班に分かれて
作った物語を、紙芝居で披
露するという言語のグループ
を行った。言語の問題やわ
国の文化背景、個人の好み
など、多くの違いが生じ無



学は自分の可能性を広げることだと分かり、とても関心が持てた」「海外で新しい発見ができたことに興味を持つ」と留学想が多数あった。

国際交流サークル(CIRO)部長の伊藤敬矩さん(国際地域経済

原 康宏さん

平成元年三月、原康宏さんが、本学から五人目となる博「号」経済学」を取得した。日本人学生として初の取得となる。

博士号を取得した原康宏さんは、溝口敏行教授の指導のもと、研究に励み、学位論文「台湾・韓国における鉱工業長期生産系列の吟味を完成」研究科委員会の審査に合格し、「博士（経済学）」の学位が授与された。

◆原康宏さんの話◆

学位論文「台湾・韓国における鉱工業長期生産系列



原 康宏さん

の吟味」の作成・提出の学位を取得することとなった。これは、指導教授の溝口敏行教授をはじめ、箱木眞澄教授、高嶋雅明教授、中川茶苗教授ほか、多くの方々の指導と励ましのおかげです。とりわけ溝口教授にはテーマの選定からデータ吟味の具体的な方法、そのほか論文作成全般にわたって丁寧なご指導と励ましをいただきました。溝口教授をはじめ、これまで支えてくださった全ての方々に深く感謝いたします。

今後は、学位論文の作成過程で発見された新たな問題等について、引き続き取り組むことを当面の課題とし、さらに研究を進展させたいと思います。

企業などで一番多く使われている新卒採用の筆記試験などで実施される総合適性検査として、「言語・国語問題」と非言語問題・数知問題の構成から、「言語・国語検査」と非言語検査の二つに分かれています。◆◆◆年間利用人数は約十万人、合格者は約三十九万人となっています。◆◆◆平成十八年度は、合格者数は約三十九万人、合格者は約三十九万人と推定されています。

53

山内 昌斗

大学院の頃、A先生の自宅に招かれたことがある。A先生は経営史の大家だが、気さくで、院生の面倒をよく見てくださった。常に「学問は人間性を磨くためにある」とおっしゃられていた。能力のなかった私を見捨てず、育てていただいた。A先生は後に病魔におかれ帰らぬ人となったが、病床でも私の論文に目を通し、アドバイスをくださった。

さて、そのA先生の自宅で変わったレリーフを見たことがあった。その時はどこかのお土産だろうくらいにしか思っけなかつたが、そのレリーフには面白いエピソードがあった。その話を伺ったのが、B先生であ

XXX

人をまく種

XXX

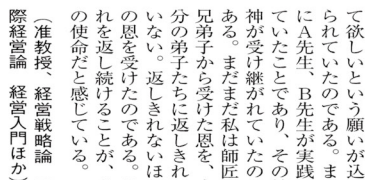
い視点を持ち、話を聞いただけで鳥肌が立つほどであった。先生からは知的刺激を大いに受けた。指導は厳しかったが、そこには愛情があ

XXX

XXX



種をまく人



広島経済大学同窓会では、外国人留学生支援の一環として、毎年一名「同窓会留学生奨学金」（月額6万円、年額72万円）を支給している。

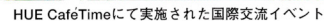
平成20年度の奨学生は、中国山西省太原市出身の李晶さん（リ・ショウ／メディアビジネス学科3年）に決定した。



◆李さんの話◆
私も日本に留学したのは、中学と高校時代からたくさん日本の文化に触れてきたからです。そこで、伝統的な文化と現代文化がうまく調和している日本社会に好奇心を持ちました。そして日本の広告業界に強い関心を抱き、もっと視野を広げたいと思っただけです。

私は大卒卒業後、日本の広告代理店に就職するつもりです。そのため「同窓会留学生奨学金」のおかげで、これらのインターンシップや就職活動に時間を割く資金の問題をすべて解決することができました。これから更に勉強の時間と社会実践の時間を増やしていきたいと思っています。

今後、私は奨学生としての自己責任と、お世話になった先生、将来は、日中広告業界の関をつなぐ架け橋となれようと呼びかけます。これまで大変お世話になった先生方に感謝します。



学内で
海外を楽しもう

インターナショナル・
カフェ実施

五月二十三日、本学興動館 HUE Café Terrace において、第一回インターナショナル・カフェを開催した。

このカフェはインターナショナル・シップ推進室・興動館・国際交流室が、海外や国際交流などに興味のある学生に本学交換留学生と交流を通じて海外の雰囲気を感じてもらおうと合同で企画したイベントである。

当日は日本人学生約三十人、交換留学生三人が食事をしながら、自己紹介ゲームやビンゴゲームなどを

平成19年度資金収支計算書

◆当該年度の現金預金(支払資金)の収支状況を勘定科目別に集計したもので、前年度からの繰越残高(前年度繰越支払資金)や次年度への繰越残高(次年度繰越支払資金)を示したものです

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	3,619,596,000	人件費支出	1,921,231,139
手数料収入	66,882,445	教育研究経費支出	715,784,042
寄付金収入	21,860,000	管理経費支出	345,708,109
補助金収入	385,737,459	施設関係支出	576,263,604
国庫補助金収入	385,427,000	設備関係支出	329,061,887
地方公共団体補助金収入	310,459	資産運用支出	1,341,260,495
資産運用収入	1,149,535,328	その他の支出	247,463,779
雑収入	27,619,080	資金支出調整勘定	△ 247,595,709
前受金収入	694,332,000	次年度繰越支払資金	1,103,839,978
その他の収入	112,883,376		
資金収入調整勘定	△ 732,641,745		
前年度繰越支払資金	987,213,381		
収入の部合計	6,333,017,324	支出の部合計	6,333,017,324

平成19年度消費収支計算書

◆企業会計の損益計算書に類似するもので、収入超過や支出超過を明らかにし、当該年度の消費収入と消費支出の均衡状況を表したものです

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	3,619,596,000	人件費	1,926,912,430
手数料	66,882,445	教育研究経費	1,289,844,943
寄付金	23,615,141	管理経費	384,648,432
補助金	385,737,459	資産処分差額	18,340,383
国庫補助金	385,427,000		
地方公共団体補助金	310,459		
資産運用収入	1,149,535,328		
資産売却差額	12,162,412		
雑収入	27,619,080		
帰属収入合計	5,285,147,865		
基本金組入額合計	△ 1,584,759,755		
消費収入の部合計	3,700,388,110	消費支出の部合計	3,619,746,188
当年度消費収入超過額	80,641,922		
前年度繰越消費収入超過額	6,612,102,730		
翌年度繰越消費収入超過額	6,692,744,652		

貸借対照表(平成20年3月31日)

◆3月末現在の財産の状況を明らかにしたものです

資産の部		負債の部	
科目	H19年度末	科目	H19年度末
固定資産	43,245,785,523	固定負債	772,864,547
有形固定資産	19,957,176,003	流動負債	948,589,643
その他の固定資産	23,288,609,520		
流動資産	1,194,238,293	負債の部合計	1,721,454,190
		基本金の部	
		第1号～第4号基本金	36,025,824,974
		基本金の部合計	36,025,824,974
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	6,692,744,652
		消費収支差額の部合計	6,692,744,652
資産の部合計	44,440,023,816	負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	44,440,023,816

平成20年度資金収支予算書

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生生徒等納付金収入	3,404,500,000	人件費支出	2,123,100,000
手数料収入	66,500,000	教育研究経費支出	932,000,000
寄付金収入	2,000,000	管理経費支出	298,300,000
補助金収入	300,300,000	施設関係支出	67,500,000
資産運用収入	353,000,000	設備関係支出	321,000,000
資産売却収入	600,100,000	資産運用支出	900,000,000
雑収入	14,000,000	その他の支出	24,200,000
前受金収入	593,800,000	予備費	100,000,000
その他の収入	14,700,000	資金支出調整勘定	△ 21,000,000
資金収入調整勘定	△ 603,800,000	次年度繰越支払資金	593,800,000
前年度繰越支払資金	593,800,000		
収入の部合計	5,338,900,000	支出の部合計	5,338,900,000

平成20年度消費収支予算書

消費収入の部		消費支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
学生生徒等納付金	3,404,500,000	人件費	2,114,500,000
手数料	66,500,000	教育研究経費	1,488,400,000
寄付金	3,000,000	管理経費	339,200,000
補助金	300,300,000	資産処分差額	3,000,000
資産運用収入	353,000,000	予備費	55,000,000
雑収入	14,000,000		
帰属収入合計	4,141,300,000		
基本金組入額合計	△ 1,289,500,000		
消費収入の部合計	2,851,800,000	消費支出の部合計	4,000,100,000
当年度消費支出超過額	1,148,300,000		
前年度繰越消費収入超過額	6,161,502,730		
翌年度繰越消費収入超過額	5,013,202,730		

光り輝く存在へ—平成20年度入学式—

四月一日、平成二十年度入学式が、石田記念体育館において、多数の保護者、来賓出席のもと執り行われ、経済学部九百六十九人(経済学部経済学科三百六十七人、経営学科三百五十九人、国際地域経済学科六十九人、ビジネス情報学科百二十八人)と、続いて、学部を代表して



新入生に期待の言葉を贈る前川学長

メデアビビジネス学科七十二人)が、大学院博士課程前期課程十人、後期課程一人が学生生活を送ることを望み、学部、大学院の入学許可宣言の後、前川学長は「本学は最高な教育環境をみなさんに提供するにあたり、努力を怠りません。この環境を生かせるかどうかは皆さんの意欲と努力にかかっています。そして四年後に卒業するときには、皆さん一人ひとりが、今よりうんとたくましく、ずっと光り輝く存在となつてほしいことを、心より期待いたします。」と、続いて、学部を代表して

事業計画など承認

平成20年度保護者会春季役員会開催



挨拶をする前川名誉会長

開催された。この役員会は、保護者会規約第十一条により、保護者会総会の代行となるものである。役員会では、松尾会長並びに前川名誉会長の挨拶に続き、平成十九年度の事業報告、会計報告並びに監査報告があり、全員異議なく承認された。続いて、平成十八年度から会長を務めていた砂原前会長に石田理恵理事長から感謝状が贈られ、砂原前会長からは退任の挨拶があった。その後、保護者又は保証人を同じくする兄弟姉妹が在籍する場合に保護者会入

特色をアピール

大学説明会開催

本学では、毎年、高等学校の先生方をお招きして、本学の現況や入試制度について理解していただき、今後の進路指導に役立ててもらおうと大学説明会を実施している。今年度は本学会場(六月三日、四日)と、山口(五月三十日)、福山(六月二日)、松江(六月六日)、で計六日間開催し、あわせて六十八校七十名に出席いただいた。説明会では、学長、学部



本学で行われた大学説明会の様子

た教えた子たちの近況を聞かれる姿もあった。長、入試対策委員長による開会あいさつの後、大学の現況報告、奨励教育プログラムの紹介、平成二十一年度入試要項説明と続き、最後に質疑応答及び個別相談を行った。本学会場では、その後、図書館、メディア情報センターの見学会を実施した。出席された先生方は、入試や奨励教育プログラムについての説明に真剣な様子で耳を傾けられ、また、説明会終了後には、卒業生

学歌を合唱したのち、厳粛な雰囲気の中、前川学長が「第三回書紹介コンテスト表彰式」や、在学生による歓迎アトラクション、保護者対象の教育相談会や、施設見学ミニツアーなどが実施された。また、中庭では各サークルが入部の勧誘を行うなど、学内は一日中賑わいを見せた。

「夢チャレンジシート」は、平成十八年度に導入された。現在、一年次から三年次まで約三千人のシートがキャリアセンターによって管理されている。キャリアセンターに常駐する三人の専任サポーターは日々、シートの更新状況をチェックし、学生の動向の把握に努めている。

夢チャレンジシートの取

個別面談を行い 将来像を明確に

り組みにおいては、専任サポーターによる個別面談がひとつのポイントになっている。面談は、学生の隠れた才能や可能性を発見し、それを充実した大学生活や進路へと結びつけることが狙い。基本的に一年次前期と二年次後期に行われ、それ以外でも、専任サポーターの判断により、随時実施されている。

エンタリーシート 作成にも有効活用

学生はインターネットに接続できる環境であれば、いつでも自分の夢チャレンジシートを確認・更新できる。なかには、取得した資格やゼミナールの活動などを細かく記入している学生もいて、シートの内容を日記帳のような役割も果たしているようだ。そもそもシートは学生生活の履歴書と



個別面談の様子

実際の面談をきっかけに、興味がプロジェクトに参加した学生や、新たなプロジェクトを立ち上げた学生もいる。また、面談後、自主的にキャリアセンターを訪れ、キャリアアップに関する相談をする学生も増えている。

夢チャレンジシート

学生自らが四年間の行動目標を記入してキャリアアップにつながる「夢チャレンジシート」。本学独自のこの取り組みが導入されて三年目を迎えた。学生のキャリア形成において夢チャレンジシートはどのように機能しているのか、取り組みの現状を報告する。

自らを見つめ直して行動する『きっかけ』に

いえるものであり、詳細な記録は、就職活動でのエントリーシート作成や面接の準備にも大いに役立つ。

また、基本的にシートの確認・更新は学生に委ねられているが、「入門ゼミ」で、シートを見直す時間を設けている。これにより普段シートから遠ざかっている学生も自分の学生生活を見つめ直すことができる。本年度末から、いよいよ夢チャレンジシート一週生が就職活動に挑む。シートを活用してキャリアアップした学生たちが、どのような結果を出してくれるのが楽しみだ。

夢チャレンジシートとは？

学生が自らの夢を明確にし、実現するために活用するシート。1年次の入門ゼミで作成する。シート作成の際には学生はこれまでの人生を振り返り、自分の適性や関心を明らかにし、将来の目標を設定。その目標を達成するための四年間の行動計画をシートに記入する。作成したシートは1年次後期よりインターネットを通じてチェックが可能。行動計画の進捗状況の確認、計画の変更等を行いながら、キャリアアップに役立てる。



夢チャレンジシート

平成20年度 特別客員教授講義日程

講義統一テーマ『未来をつかむ』～自分を磨く～

学生に実社会を学んでもらうとともに、開かれた大学づくりの一環として開講している「教養特別講義」は、一般の方々も受講（定員100名）いただいています。企業のトップをはじめ、文化・芸術分野などで活躍されている方々に各専門分野について講義していただきます。詳しくは、8月18日（月）以降、本学Webサイトにてご案内します。

第7回 平成20年11月20日



国立大学共同利用機関
国際日本文化研究センター 教授
丹谷 和比古 氏
【サブテーマ】歴史に学ぶ人間性

第8回 平成20年11月27日



広島女学院大学 名誉教授
原田 佳子 氏
【サブテーマ】地域再発見～最良の芸術文化～

第1回 平成20年10月2日



ひろしま通訳・ガイド協会会長
韓国・済州大学校国際学部日本学科
元担当専任教授、広島韓国研究会理事
藤井 正一 氏
【サブテーマ】激動する韓国社会での若者の生き方とその社会 ―競争社会でいかに生き抜いていくか―

第2回 平成20年10月9日



財団法人 ひろしま美術館事務局長
のぶみ かつまさ
野上 勝正 氏
【サブテーマ】感性を磨く ―文化と美術館―

第3回 平成20年10月23日



作家、評論家
いしかわ よしこ
石川 好 氏
【サブテーマ】世界を豊かに生きる

第4回 平成20年10月30日



元 唐詩人
かつら こうじろ
桂 小金治 氏
【サブテーマ】心と体の健康のために

第5回 平成20年11月6日

スポーツ関係者（予定）

第6回 平成20年11月13日



早稲田大学 名誉教授
おつか しずこ
大辻 淑子 氏
【サブテーマ】異文化との接点―言語、翻訳、文学の受容

第9回 平成20年12月4日



比較文化学者、元リゾバ大学教授
むらはん ちえこ
ムルハーン 千栄子 氏
【サブテーマ】ジェンダー近接社会のアルファ、ベータ、ガンマ・ウーマン

第10回 平成20年12月11日



岡山医療福祉グループ
特定非常勤講師、岡山大学・ナゼン・ネットワーク代表
山崎 泰成 氏
【サブテーマ】今後の日本社会における医療と福祉の連携と協働

第11回 平成20年12月18日



大蔵流 狂言師
まつばら しゅん
松本 薫 氏
【サブテーマ】元気の素…笑い

第12回 平成21年1月8日



中国電力株式会社 陸上競技部 監督
さかい たい
坂口 泰 氏
【サブテーマ】世界で戦うランナーたち

第13回 平成21年1月15日



佐々木メンタルクリニック 精神科医師
ささき たかひろ
佐々木 高伸 氏
【サブテーマ】うつを知る・防ぐ・治す

シティカレッジ 平成20年度 HUE 広島経済大学 公開講座 ビジネスマンのための経済再入門 グローバルビジネスの諸相

参加 定員100名
無料 10月15日（水）から受付開始

グローバル化の進展に伴って、海外との取引はもはや我々の日常の光景になったかのようにも見えます。しかし、今日の日本の経済は、その知り尽くしているはずの海外の経済に翻弄され続けています。そもそもグローバル化とは何だったのか？日本経済にとっては厄介な問題を引き起こすだけのものではないのか？今回の講座では、グローバル・ビジネスを、さまざまな側面から立体的に捉えなおしてみたいと思います。

開催日	講師	テーマ	講義内容
第1回 11/25(火)	教授 鈴木 文三	海外ビジネス事始	国内ビジネスとは違い、国境を超えるビジネスには、文化や商習慣の違いがもたらす予期せぬ事態が多々あります。企業人として、海外ビジネスにどう取り組むべきかを、体験談を交えつつ皆さんと一緒に考えます。
第2回 12/2(火)	教授 田中 泉	ビジネスマンの海外便利帳	ビジネスマンが海外に赴任した時、その生活はどのように立ち上げればいいのか？買物は？車は？子供の教育は？日本人ビジネスマンが集中して滞在している米国カリフォルニア州を事例に、紹介します。
第3回 12/9(火)	教授 小谷 幸生	市場経済化とグローバル化がもたらすもの～東欧、旧ソ連諸国の経験から～	ベルリンの壁が崩壊してから来年度で満20年。東欧や旧ソ連の国々は、社会主義という巨大な社会実験の後、資本主義体制への移行という大きな社会変革に挑みました。こうした激動の時代を歩みながら、グローバル化するビジネス環境の枠組みとなる経済体制について考えます。
第4回 12/16(火)	教授 細井 謙一	グローバルビジネスの諸相	シリーズ全体をふりかえり、グローバル化の持つ意味を、多面的・立体的に捉えなおし、よりよいグローバル・ビジネスの在り方を受講者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。前3回の講演者を交えてパネル・ディスカッションも行います。

【コーディネーター：教授 細井 謙一】

- 時間 18:30～20:30（開場18:00）
- 会場 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟6F マルチメディアスタジオ 〒730-0036 広島市中区袋町6-36
- 申し込み先／財団法人広島市ひと・まちネットワーク（事務局）
Tel (082)-541-5335 Fax (082)-541-5611 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
【申し込み方法】電話、ファックス、来所 ※郵送（はがき等）による申し込みは受け付けておりません。
受付時間：月～金（祝日を除く）8時半から17時15分まで（来所の場合は9時半から）
- お問い合わせ／広島経済大学 教育・学習支援センター
〒731-0192 広島市安佐南区祇園5-37-1 Tel (082) 871-9345
- 主催 広島経済大学、教育ネットワーク中国、広島市、財団法人広島市ひと・まちネットワーク

